さぬき映画祭

SANUKI FILM FESTIVAL

さぬき映画祭2023

2月4日(土)・5日(日)

2023

会場：レクザムホール／イオンシネマ高松東／情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ

主催：さぬき映画祭実行委員会／香川県／（公財）置県百年記念香川県文化芸術振興財団／情報通信交流館e-とぴあ・かがわ／イオンエンターテイメント株式会社

後援：朝日新聞高松総局／産経新聞社／山陽新聞社／四国新聞社／毎日新聞高松支局／読売新聞高松総局／RSK山陽放送／RNC西日本放送／OHK岡山放送／KSB瀬戸内海放送／TSCテレビせとうち／KBN株式会社／CMSケーブルメディア四国／CVC中讃テレビ／FM香川／FM815／香川経済レポート社／高松リビング新聞社／ナイスタウン出版

www.sanukieigasai.com

さぬき映画祭2023

2月4日(土)・5日(日)

映画・映像による地域文化の振興と香川の活性化を目的に、
2006年から開催している「さぬき映画祭」は17回目を迎えます。
「さぬき」にこだわり、県内で撮影された作品など、
香川にゆかりのある作品を様々なジャンルから選んでお届けします。

開会式 & 令和4年度映画制作補助作品プレミア上映!

4[土] 1 レクザムホール／13：30～

映画制作補助事業「人名(にんみょう)の島」

2023年／60分

無料
入場整理券が必要です
(事前申込・先着順・全席指定)

監督：木山みどり　原作：弁財理恵子(さぬき映画祭第5回シナリオコンクール大賞受賞)
出演：加藤光昭、片山きょうこ、中越恵美、山田翼

ゲスト[予定]
- 木山みどり(監督)
- 加藤光昭(俳優)
- 中越恵美(俳優)
- 片山きょうこ(俳優)
- 山田翼(俳優)

講評[予定]
- 大津一瑯(映画制作補助事業審査員・シナリオライター)

作品紹介:かつて村上水軍と共に瀬戸内を二分した塩飽水軍。その本拠地・丸亀市本島には明治になるまで人名(にんみょう)制という特異な制度が敷かれていた。悟志の家は四百年続いた人名の家。「おまえは人名の家の跡取りぞ」と言われ育つが、悟志は父の反対を押しきり島を出て東京で就職する。55歳で香川に出向で戻った悟志は、幼なじみで初恋の美岬と再会、一緒に暮らし始めるが…。

小豆島がモデルとなった作品を一挙上映!

4日(土)の上映前に土庄町を紹介します

鹿島明神社

アニメの1期から劇場版まで、2人を見守ってきた「鹿島明神社」。潮の満ち引きで現れたり消えたりする不思議な砂の道「エンジェルロード」。

昔ながらの町並み「迷路のまち」。その他にも、映画やTVアニメに登場したスポットがたくさんあります。

舞台探訪マップを片手に土庄町を聖地巡礼してみてはいかがですか。

山本崇一朗氏　令和3年度香川県文化芸術新人賞受賞記念上映

4[土]	レクザムホール 17：00～ ゲスト	1,000円 サービスセンター or インターネット予約
5[日]	イオンシネマ高松東 13：00～[ゲストトークはありません]	1,000円 会場窓口 or e席リザーブ

2 9 劇場版「からかい上手の高木さん」

2022年/73分

監督：赤城博昭
原作・監修：山本崇一朗
声優：高橋季依、梶裕貴

4日(土)のみ ゲスト[予定]
- 赤城博昭(監督)

作品紹介:これは、ひと夏に起こる、ちいさくて、やさしい青春物語ー。とある中学校、隣の席の女の子・高木さんに何かとからかわれている男の子・西片。どうにかして高木さんをからかい返そうと策を練るも、いつも、高木さんに見透かされてしまう。季節はめぐり、3年生に進級した2人。周囲は将来を考え始め、不安と期待が入り混じる中、高木さんと西片の距離は未だ変わらぬまま。そして、中学最後の夏がはじまろうとしていたー。

©2022 山本崇一朗・小学館／劇場版からかい上手の高木さん製作委員会

さぬき映画祭から誕生した監督作品！

5［日］ レクザムホール／10:30～

6 令和元年度映画制作補助事業
ぐるり1200キロ、はじまりの旅 2020年/60分

無料
入場整理券が必要です
（事前申込・先着順・全席指定）

監督：香西志帆
原作：河野輝夫（さぬき映画祭第3回シナリオコンクール大賞受賞）
出演：昆夏美、山中聡、長村航希、原扶貴子、大里菜桜

作品紹介:伊藤まひるは、旅行雑誌の編集者をしている。ある日、15年前に亡くなった母から写真入りの手紙が届く。それは四国八十八箇所霊場を回った後、まひるに送られた手紙だった。そんな時、雑誌の50周年記念号でコラムの連載が決まった世界的有名作家が失踪する。まひるは、その原稿を埋めるために、そして母の思いを知るために香川県に向かった。賢島映画祭グランプリ受賞作品。

ゲスト［予定］

昆夏美（俳優・歌手）

香西志帆（監督）

5［日］ レクザムホール／13:30～

7
はちみつレモネード & 虹色はちみつ

1,000円
サービスセンター or インターネット予約

はちみつレモネード 2020年/15分

監督・脚本：梅木佳子　出演：辻千恵

作品紹介:少女から大人の女性へと成長する女子高生、彩瑛（さえ）と、娘を見守るシングルマザーの美里（みさと）。母親に子ども扱いされていた少女が、化粧に憧れ、母親の体調を気遣う優しい女性へと成長する思春期の少女と母の物語。

虹色はちみつ 2021年/30分

監督・脚本：梅木佳子　出演：辻千恵、鈴木咲

作品紹介:高校生の彩瑛は、優しい両親に何不自由なく育てられ、今後の進路に悩んでいた。ある日、危機を救った少女を連れ走っている時に、自分の過去を思い出す。家族とは何かを考える物語。

ゲスト［予定］

梅木佳子（監督）

辻千恵（俳優）

鈴木咲（俳優）

4［土］ イオンシネマ高松東／13:50～

3
魔女の宅急便 2014年/108分

1,000円
会場窓口 or e席リザーブ

監督：清水崇　**脚本：奥寺佐渡子、清水崇**
原作：角野栄子「魔女の宅急便」（角川文庫刊・福音館書店刊）
出演：小芝風花、尾野真千子、広田亮平、山本浩司、新井浩文、吉田羊

©2014「魔女の宅急便」フィルムパートナーズ

作品紹介:見知らぬ町で1年間暮らす。それが魔女修行の掟なのです。魔女の血を引く少女キキは13歳になり、一人前の魔女になるための決まりに従い、黒猫のジジとほうきに乗って旅に出る。やがて辿り着いた海辺の町コリコでキキを待ち受けていたのは、パン屋の女将・おソノや、空を飛ぶことを夢見る少年・とんぼら、個性豊かな住人たち。キキはおソノのもとに居候し、お届けもの屋「魔女の宅急便」を始めるのだが…。

©2014「魔女の宅急便」フィルムパートナーズ

5［日］ 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ／10:30～

11
八日目の蝉 2011年/147分

500円
会場窓口

監督：成島出
出演：井上真央、永作博美

ゲスト［予定］
浅生博一（ヴィレッチプロデューサー）
有本裕幸（小豆島フィルムコミッション総括プロデューサー）

©2011映画「八日目の蝉」製作委員会

作品紹介:直木賞作家・角田光代のベストセラー小説を、井上真央、永作博美の主演で映画化。自分が母親になれない絶望感から不倫相手の娘を誘拐し、4年間育てた希和子と、彼女に育てられた過去を引きずり、心を閉ざしたまま成長した恵理菜。そんな2人の複雑な思いを繊細かつ大胆に描きながら、"母性"というテーマをサスペンスフルに浮き彫りにしていくさまは、圧巻の一言。

©2011映画「八日目の蝉」製作委員会

映画・ドラマ・舞台で大活躍 香川県出身の高畑淳子出演最新作！

5［日］ レクザムホール／16:00～

8 **母性** 2022年/116分

1,000円 サービスセンター or インターネット予約

©2022映画「母性」製作委員会

©2022映画「母性」製作委員会

監督：廣木隆一　脚本：堀泉杏

原作：湊かなえ『母性』(新潮文庫刊)

出演：戸田恵梨香、永野芽郁、高畑淳子、大地真央

作品紹介：愛せない母と愛されたい娘の「母性」を巡る衝撃の物語。女子高生が遺体で発見された。その真相は不明。事件はなぜ起きたのか？普通に見えた日常に、静かに刻み込まれた傷跡。愛せない母と、愛されたい娘。同じ時・同じ出来事を回想しているはずなのに、ふたりの話は次第に食い違っていく…

香川県出身

高畑淳子(俳優)

さぬきが誇る朝原監督作品を上映！

5［日］ イオンシネマ高松東／14:45～

10 **武士の献立** 2013年/121分

1,000円 会場窓口 or e席リザーブ

©2013「武士の献立」製作委員会

©2013「武士の献立」製作委員会

監督・脚本：朝原雄三

出演：上戸彩、高良健吾、余貴美子、西田敏行

作品紹介：優れた味覚と料理の腕を持つが気の強さがあだとなって嫁ぎ先から1年で離縁された春。ある日、彼女はその料理の才能を買われ、加賀藩の料理方である舟木に息子の嫁にと懇願される。一度は断わるものの、お貞の方の勧めもあって春は2度目の結婚を決意する。春が嫁いだ加賀の舟木家は代々藩に仕える由緒ある包丁侍の家で、夫となる跡取りの安信は料理が大の苦手で4歳も年下。春は姑の満の手を借りながら、安信に料理を教える。

リクエスト募集 投票の多かった上位3作品を一挙上映！

1 5［日］ 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ 15:00～

500円 会場窓口

12 **曲がれ!スプーン** 2009年/106分

監督：本広克行

出演：長澤まさみ、三宅弘城、諏訪雅

©2009フジテレビ／ROBOT／博報堂DYメディアパートナーズ／東宝／日本映画衛星放送

作品紹介：TVの超常現象番組を担当する女性ADの桜井は、新たな題材を求めて取材の旅に出た。超常現象に興味を抱いてこの仕事に就いた彼女だが、取材する自称超能力者は偽者ばかり。一方、とある田舎の喫茶店《カフェ・ド・念力》では、本物の超能力者たちが普段隠している力を存分に発揮するためのパーティーを開いていた。そうとは知らない桜井が偶然、店を訪れ、彼らは桜井に正体がばれないよう、必死でごまかし続けるのだが……。

©2009フジテレビ／ROBOT／博報堂DYメディアパートナーズ／東宝／日本映画衛星放送

2 4［土］ 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ 15:00～

500円 会場窓口

5 **世界の中心で、愛をさけぶ** 2004年/138分

監督：行定勲

出演：大沢たかお、柴咲コウ、長澤まさみ、森山未來

©2004 東宝／TBS／博報堂／小学館／S・D・P

作品紹介：朔太郎は失踪した婚約者、律子を追って彼女が向かった四国の小さな町へ。そこは朔太郎が思春期を過ごした故郷だった。サクとあだ名される高校2年生だった10数年前、初恋の相手、亜紀(アキ)と過ごした日々を振り返る朔太郎。当時、愛を育んだサクとアキだが、アキは不治の病にかかって入院してしまった。サクはアキが憧れるオーストラリアの神聖なる土地ウルルに彼女を連れていこうと考え、彼女を病院から連れ出すことにする。

©2004 東宝／TBS／博報堂／小学館／S・D・P

3 4［土］ イオンシネマ高松東 16:10～

1,000円 会場窓口 or e席リザーブ

4 **とんび** 2022年/139分

監督：瀬々敬久　脚本：港岳彦

出演：阿部寛、北村匠海、杏、安田顕、大島優子

©2022「とんび」製作委員会

作品紹介：幾度途切れても必ず繋がってゆく親子の絆を描く、重松清による不朽の名作小説「とんび」。今この時代にこそ届けたいと、初映画化が実現。主人公の、破天荒ながら愛すべき父・ヤス役には、『テルマエ・ロマエ』『下町ロケット』などの大ヒット作で、圧巻の表現力と存在感を放つ阿部寛。ヤスの息子・アキラ役には、若手実力派の中でも突出した才能を発揮する『君の膵臓をたべたい』『東京リベンジャーズ』の北村匠海。さらに、多くの深遠な物語をエンターテイメントとして昇華させてきた監督・瀬々敬久の元に、薬師丸ひろ子、杏、安田顕、大島優子、麻生久美子、他豪華キャストが集結。
これは、古き良き時代の物語にとどまらない、新たな時代への希望を予感させる、今、そして未来へ繋がる家族の絆の物語。

さぬき映画祭2023上映 スケジュール

ゲ ゲスト&トークあり　有料上映　無料上映　※チケット(要事前申込)

※ゲスト、上映時間等は急遽変更となる場合がございます。

注意事項 ●上映会場に録音、録画などに使用する機材を持ち込むことはできません。●他のお客様にご迷惑がかかる行為があった場合、ご退場いただくことがあります。

日付	会場	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
4(土)	レクザムホール小ホール					1 13:30～ ゲ 開会式(約40分)の後 オープニング上映 人名の島			2 17:00～ ゲ 劇場版「からかい上手の高木さん」		
	イオンシネマ高松東					3 13:50～ 魔女の宅急便		4 16:10～ とんび			
	情報通信交流館e-とぴあ・かがわ						5 15:00～ 世界の中心で、愛をさけぶ				
5(日)	レクザムホール小ホール		6 10:30～ ゲ ぐるり1200キロ、はじまりの旅			7 13:30～ ゲ はちみつレモネード&虹色はちみつ		8 16:00～ 母性			
	イオンシネマ高松東				9 13:00～ 劇場版「からかい上手の高木さん」		10 14:45～ 武士の献立				
	情報通信交流館e-とぴあ・かがわ		11 10:30～ ゲ 八日目の蝉				12 15:00～ 曲がれ!スプーン				

1～12 チケットの購入・入場整理券の配布先

※チケット不正転売禁止法違反となりますので、利益を得る目的のチケットの転売は固くお断りします。

チケットのご購入・入場整理券(無料)について

1 2 6 7 8 レクザムホール(香川県県民ホール) [HP] https://kenminhall.com/

1月8日(日) 10:00から 販売開始・入場整理券(無料)受付開始

申込・問い合わせ先 県民ホールサービスセンター　電話:087-823-5023

- ▶インターネット予約 ※右記のQRコードもしくは、https://kenminhall.com/visitors/ticket/
- ▶県民ホールサービスセンター窓口販売(10:00～18:00) ※ただし、1月16日(月)及び23日(月)は休館日
- ▶電話:087-823-5023(レクザムホールチケット専用 10:00～18:00)

スマホサイトはこちら

3 4 9 10 イオンシネマ 高松東 [HP] https://www.aeoncinema.com/cinema/takamatsu/

1月8日(日) 劇場OPENより販売開始

- ▶イオンシネマe席リザーブ ※詳しくは、右記のQRコードからご確認ください。
- ▶イオンシネマ窓口販売 ※窓口での購入は、イオンシネマ高松東窓口に限ります。

スマホサイトはこちら

5 11 12 情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ 1月8日(日) 10:00から 販売開始

販売時間・場所

※お支払は現金のみとなります。

前売券　1月8日(日)～2月3日(金) 10:00～17:00　4階受付
※ただし、1月10日(火)、16日(月)、23日(月)、30日(月)を除く

当日券
- 5 2月4日(土) 14:30～15:00
- 11 2月5日(日) 10:00～10:30
- 12 2月5日(日) 14:30～15:00

BBスクエア前受付
※当日券は残席がある場合にのみ販売

会場のご案内

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

- 発熱や風邪の症状、咳・倦怠感、味覚・嗅覚障害等の症状がある場合や、新型コロナウイルス感染症の陽性者との濃厚接触がある場合は、ご参加をお控えください。
- 入場時の体温測定と手指消毒のご協力をお願いします。
- 施設内では、不織布マスクの着用や咳エチケット、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。
- 会場内での会話はお控えください。
- ブランケットの貸出はありませんのでご了承ください。

お問い合わせ

さぬき映画祭実行委員会事務局（香川県文化振興課内）

〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10　TEL 087-832-3785　FAX 087-806-0238　E-mail info@sanukieigasai.com

「さぬき映画祭2023」では、ご支援いただけるサポーターを募集しています！

（一口 3,000円）

お申込みいただいた方については、さぬき映画祭ホームページでお名前をご紹介いたします（希望者のみ）。
その他、サポーター特典等はございませんので、あらかじめご了承ください。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

www.sanukieigasai.com